

とよおか わくわくサイクリング(石仏編)



横山地区を走る参加者達

6月4日(日)



第748号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
(6月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,279人
女 3,290人
総人口 6,569人
世帯数 2,230戸

今年度の資料館特別展「豊丘村の石仏Ⅱ」が五月五日～十四日の十日間「ゆめあるて」で開催されました。

資料館主任
唐澤 武彦

資料館特別展 「豊丘村の石仏Ⅱ」まとめ

「六地蔵」「山岳塔」「供養塔」以上九種類の石仏について、写真と武田彦左衛門先生のスケッチで紹介しました。

二回にわたる「石仏展」の目的は、令和二年度～三年度に行われた公民館事業「豊丘村の石造文化財調査」の成果を広く村内の方々に知っていただくことでした。その意味では、参観者数が増えたと良かったのですが、所期の目的はある程度達成できたものと

思われます。

さて、今回参観された方々からは「豊丘は昔から豊かな所だったんですね」という内容の感想がたくさん聞かれました。私もまったく同感です。石仏の数が多いこと、小さな村の中に山道観音が六ヶ所もあること、百体庚申の存在、さらに富士山のような霊山や全員の霊場巡りにたくさんの方が参加している等々、本当に驚く事ばかりです。



(松尾くずあ)

八月までには、みんな成長し、元気に巣立って行くでしょう。無事生き抜いて帰ってきてくれればいいな、と見守っています。



豊丘村歴史民俗資料館では、特別展「豊丘村の石仏Ⅱ」に合わせて、村内の石仏をめぐるサイクリングを「とよおか旅時間」とともに開催しました。当日は、小学生二名と村外二夫婦二名が参加され、二時間のサイクリングと五ヶ所の石仏を巡り、歴史探訪を楽しみました。

自転車に乗って歴史を
学び、思いを馳せる
とよおか旅時間
矢野智志

午前十時にとよおか旅時間を出発し、まずは林横手の百体庚申を目指します。豊丘村を代表する石像文化財のひとつで、私自身この百体庚申は何度も写真を撮り、訪れている観光スポットですが、詳しい話を聞くのは実はこれが初めてでした。参加者の皆さんと一緒に歴史的な背景や意味などを勉強しました。子どもたちにはちょっと難しい話ではありましたが、参加者同士で教え合ったり、ガイドの方に質問したりと意欲的な姿勢が印象的でした。

その後は北村会所辻、中平会所前、市ノ沢十王堂跡を回りました。豊丘村の中に点在する数々の石像文化財の中でも、双体道祖神という二体の仏像が手を取り合っている珍しい石仏は、確認されているだけでも全部で六体。そのうちの



十キロの行程で三体をこの日のサイクリングで巡り、鑑賞しました。まったく同じような石仏はよく見るとその様子や立ち位置、手の取り方などが細かく違います。それぞれの石仏を見比べながら、その当時の人々がどのような思いでこの石仏を作り、祀っていたのか？などに思いを馳せると非常に興味深く感じます。

最後に河野・筏にある一ノ刈へ。今ある河野新田へ水が引かれた歴史と天竜川の治水を行っていた堤の跡の話を聞いた上で、田植え真っ盛りの水田を横目に旅時間への帰路につきました。約十キロの行程で

段丘

数年前から我が家にもツバメが巣を作るようになり、生まれたツバメが元気に巣立っていったことを以前この段丘で紹介しました。

今年も四月の中旬にはやってきて、家の近くを飛び交い始めました。最初は、近くの電線から数羽で様子を伺っていましたが、数日後には屋根の上、窓枠と、だんだん近づいて来ました。チュピチュピチュピと鳴く様子は「今年はどうする?」「ここは安全かな?」とみんなで吟味しているようでした。最終的には一組の番が、玄関の軒下に留まりました。そして、昨年残したままの巣に新たな泥を少し加えてリフォームした後、卵を温め始めました。

巣の場所は、手を伸ばせば写真が撮れるほど近く、観察するのが日課です。この番は、去年と同じツバメなのか、それとも巣立った子供なのか、全く別のツバメなのか、と疑問に思うのですが、残念ながらわかりません。

八月までには、みんな成長し、元気に巣立って行くでしょう。無事生き抜いて帰ってきてくれればいいな、と見守っています。

村議会議員へのアンケート

豊丘村の未来を託す
新村議会議員の主張

令和5年度統一地方選！
豊丘村でも村長、村議会議員選挙がこの4月に行われ前回に引き続きそれぞれ無投票で当選されました。ご活躍を期待しています。無投票選挙が続き選挙戦も1日で終了したため、村民に訴えかける時間も限られていたと思います。そこで館報編集委員会では新村議の皆さんから主張をお聞きする機会を設けました。（立候補届け出順）



唐澤 健
市ノ沢(日本共産党)76歳

村の水道水の水源の多くが井戸水になっていて、この水を沸騰させると白い固形物ができます。これはスケールと言われるものが変化したもので、無害の

ものですが、湯沸かし器が白くこびりついたり、スチームアイロンが壊れたりします。この対策としてメンテナンスフリーの活水器を提案し、林里の水源に試験的に設置され、林里・林原・木門・山田地区に供給されています。村のアンケートでも七割の家庭で変化を実感されています。令和三年度予算の余剰金の一割りを当てれば全村の井戸の

水源に設置できます。引き続き村に強く要望していきます。今後四年間で、いずれ、すべての村民がお世話になる国保税、介護保険料の一般財源からの補填で引き下げを要望していきます。また、地球温暖化防止と食料自給率増加のため、農業支援の提案をしていきます。いま、自公政権と維新の会は、軍事費の倍化で、憲法違反の敵



基地攻撃能力保持を閣議決定しました。この予算は、増税や医療・介護の改悪で賄おうとしています。こうした政治に村議会でも反対していきます。



片桐忠彦
大柏(無所属)70歳

目標は「今日より明日の住みよい地域豊丘」を目指して活動する事です。高齢化が進む中、十年先を見据えてなどといっていられませ

ん。高齢者の農業継続課題、高齢者頼みの公共用地の管理（道路河川含む）等、今日明日の課題と考えます。次に、「防災減災で安全な地域づくり」です。これも今の異常気象や、頻発する地震等、村民への注意喚起の対応だけでは心配です。これも今すぐにでも考えなくてはならない課題です。ただ、防災関係は国県頼み

とのこと、この地域における計画的な対応に取り組んでいきたい。次に「地域課題に合った施策の強化」が必要と考えます。山間地域の人口減少・高齢化は対策から対応が必要です。対策を進めるには時間が必要、よって住みよい地域としての対応施策が必要。農業も下段と上段とは違う施策が必要です。

次に「すべての安心安全は、地域コミュニティから」と考えます。コミュニティの強化です。地域の中で助け合う関係性が重要と考えます。次に、リニアについて、「開業すれば地域が変わる」のではなく「変える」取り組みが必要と考えます。



井原康明
林里(無所属)78歳

Q 選挙戦になった場合の主な主張内容
リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据えれば、豊丘村は大きく変化する事が見

込まれます。人流や、豊丘村に関係する人たちが増えることが期待でき、豊丘村を体験することとで、村民の方も含め「豊丘村はいい村だ・豊丘村で良かった」と思えるような村の更なる構築ができる様に、また、地域や各団体などと意見交換など図り、若い人達の貴重な声も聞きながら豊丘村の未来を輝くものにするための議会活動が必要である

と考えます。相手の目線に立ち、「何をもちて相手の方は豊丘村がいいと感じるのか」などを求め続ける必要があるのではと考えます。すべての施策に相手にとって少しでも魅力（価値）が感じられる事が大切で、少しずつ魅力が積み重ねられ、それが個人にとって妥協（満足）できれば、豊丘村はいい村だと感じるのではと考えます。



唐澤克己
木門(無所属)79歳

今回の選挙も、私の政治活動の理念である「持続可能な社会をめざして、個々人には、健康、仕事、生きがい、社会には、安全安心、

個々の尊重、助け合いを！」議会や行政の役割は、これらの実現を支援し、社会や地域を持続可能にしていくこと」を掲げました。温暖化の進行が原因で、今や地球規模で、災害や健康被害が頻発しています。また、格差や生活苦も深刻化し、そうしたことに基づく憎しみの連鎖によ

り各地で紛争も勃発しています。もはやただ物質的な豊かさのみを追求しているだけでは何も解決しない状況です。おかれている状況をしっかりと見据え、まず村や議会においては、「だれもがどこかに安心して暮らしていける持続可能な社会」の実現をめざして、知恵を結集し、体制を整えることが必須であると考えます。

- 取り組み課題の例
- ① 上下水道の老朽化対策
 - ② 要介護、医療者への援助
 - ③ 道路井水路の改修改善
 - ④ 子育てや教育への支援
 - ⑤ 環境保全のための山林や原野の整備
 - ⑥ 関係機関との連携による各種産業の振興



吉川明博
小園(参政党)68歳

私は参政党の公認議員の吉川明博です。三期十二年間の議員活動を皆様にお支えいただき、誠に有難うございます。

これまでも、これからも豊丘村の一員として、子育て支援、高齢者福祉、ボランティア活動の啓蒙、直売所「道の駅 南信州とよおかマルシェ」、「南信州豊丘村観光協会」とよおか旅時間」の運営を注視し、リニア工事対策を中心に活動して行きます。「子どもの教育と健康で安全な育成」学校に行けない子どもたちの居場所作りとして、「フ

リースクールの設立と運営の支援」学校以外での基礎教育の確立をリードしてゆきます。この二つを実現する為に、議員活動を継続する決意をしました。また、南信州とよおかマルシェは、かけがえの無い大切な豊丘村の財産です。皆様の思いがきちんと届くよう尽力し、より笑顔が溢れる豊かな道の駅に

します。政治に無関心でいても無関係ではられません。豊丘村を担うのは今を生きる私たちであり、未来を生きる若者たちです。村民の皆様方の子や孫、日本の子孫が心豊かに暮らせる社会を、共に築いていきましょう！



酒井浩文
大柏(無所属)58歳

四年前、母親の介護や諸事情で二期八年間務めさせていた議員を引退しました。昨年その母親が亡くなり、自分の中での整理と仕上げをしたく、こ

のたび再度立候補させていたいただきました。今回初めての無投票当選を経験しましたが、当選の感動は正直あまり感じません。さて今回私の公約のひとつに「きれいな村づくり」がありま

「人が集まる」ことが一つの価値を生む。きれいなところに人は集まり、人の集まる場所に価値が生まれる。言いかえると「村をきれいにしておくことで、村の価値が高まる」ということになり、きれいな村に住みよい村、となります。きれいな村とは①景色がいい②里山の農村風景の保持と開発のバランス。③居心地がいい④

コミュニティがあり仲間がいる社会。③楽しい遊び、食べる、買う、体験が充実している。④安全安心⑤健康、福祉、防犯、防災の対策が充実している。⑤不便さが楽しめる⑥目指すべき豊丘村の姿。これから一緒に「きれいな村づくり」をしていきましょう！



平澤恒雄
小園(公明党)69歳

健康で活力あふれる「とよおか」へ
①健康診断やがん検診を推進し、健康長寿をめざします。
②ウォーキングなど健康維

持・増進の行動に対して、健康ポイント付与で応援します。
2 未来を担う子どもが輝く「とよおか」へ
①〇〇十八歳までの子どもの相談を、一箇所に対応できる体制を作ります。
②〇〇二歳児を育てる家庭の家事・育児を手伝える体制

3 安心・安全に暮らせる「とよおか」へ
①自治会集会所など指定避難所の耐震対策を進めます。
②災害に備えて、マイ・タイムライン（私の避難計画）

4 公明党の全国約三千人のネットワークを活かし、よりよい「とよおか」へ
①村・県・国を結ぶ太いパイプ②公明党議員のネットワーク③を活用し、豊丘村の発展に努めます。



前沢光昭

中部三(日本共産党)64歳

私の主張はまずは子育て支援のひとつとして「小中学校の給食費の無償化。学校徴収金の保護者負担の軽減」です。学校徴収金とは小中学校において給食

費を始めとして教科活動費やクラブ活動や修学旅行にかかわる費用です。これが豊丘村の小中学校では児童一人当たり約七万六千円程、中学生一人当たり十萬四円近くかかります。兄弟があればその分かかります(令和三年度、県教委調査による資料から)。給食費はその学校徴収金の七割を占めます。給食費の負担が無くなれば大きな子育て

支援となります。憲法にも「教育費はこれを無償とする」と保障もされています。村では学校給食費は村長が「村として六割補助を行う」とを表明しました。国でも給食費に關してようやく動き始めました。私は昨年六月と十二月の一般質問で取り上げ、今回、村議選の公約としても掲げました。村は周辺町村にも気を使い六

割補助という事です。私は無償化に向けて一刻も早く進めるべきと思います。子育て支援に關しては保護者以外の方から様々な意見もありますが、まずは保護者の負担をどう減らして行けるかが鍵だと思います。



武田 徹

中芝(無所属)64歳

私は、昭和五十三年から令和二年三月まで四十二年間、役職員として多くの村民の皆様にお世話になってきました。また、公民館活動では、七年の本館主

事と三十年ほど分館役員として活動をしてきました。今後は、これらの経験を元に議員活動を行っていきます。

ととわれます。地域の活性化は村の活性化にも繋がる重要な要素です。村教育委員会、公民館、分館が一緒になって取り組める活動を模索します。

着工後四年目となる竜神大橋建設工事。令和七年の開通後の地域は大きく変貌することが予想されます。豊丘村の北の玄関口として、地元河野区を始め、地域の皆さんと共に均衡ある開発が行えるよう検討を進めます。



堀本文文

中宮(無所属)60歳

一 山間地域の声を村に 産まれてから今まで、山間地域で暮らしながら仕事をさせていただきました。山間地域の生活は理解し実感してい

ます。地域の声を村に届けます。 二 土地の有効利用 豊丘村は、農工商が共用した子育てに最適な村と考えています。農地は生産性の高く観光事業にも適した場所に、商工業は住民生活に適した場所に、子育てのために必要な住宅を。以上をまとめた土地

三 子供達の夢を応援できる村に 子供達が成長する上で、様々な夢が産まれます。その夢が叶うための応援を村にお願いします。 四 介護負担の軽減 誰もが関わる介護の問題、

実経験を踏まえて家族が明るく生活できる介護制度の拡充を、村と共に検討します。



武田篤子

中宮(無所属)63歳

〇「女性目線で行政をとらえて安心して暮らせる村づくりを目指す。議員活動の中で、男性議員とは違う感性があることを実

〇「村づくりは、人づくりから」これは、一期目からの思いです。ソフト事業として、そこに住む人の人材育成がとても大事だと考えます。教育、研修、スキルの取得といったものばかりでなく、生きがいを持ち続け、生き

〇「豊丘らしさを生かした産業振興、学校教育。年を取ってもずっと豊丘に住み続けられるような行政施策などの提案」をしていきたいです。豊丘生まれ、豊丘育ち。村内に就職し、村内

に嫁いだ。私にとっては、豊丘村はとも思入れのある大事なものです。豊かな丘の村。この言葉通り将来もあり続けたいと思います。村民の皆様方には、色々な面でご意見を頂ければ幸いです。



壬生眞由美

壬生沢西(無所属)63歳

★ずっとここに住み続けたい村に 私たちの体は食べた物でできています。何よりも命と健康が宝。豊富な果物に加え、地元の

お米や野菜を子どもたちに。消費者も生産者も元気になる有機物が循環する地球にやさしい農業は、持続可能なライフスタイルの実現でもあります。

★草木や小動物 めぐる季節に里山で 出会える未来を い つまでも 豊丘村の強みはゆたかな自然と言います。

★誰かが思いを語れる村づくり 互いに意見を語り合える地域社会に。議会がもっと皆様の身近になりますよう、創意工夫してまいります。

豊丘村のあたりまえの風景をここで暮らせる環境を残すことが守ることが村の魅力高め賑わいに繋がります。



豊丘北小学校では五月二十四日、三年ぶりの鑑賞音楽教室が行われました。今回演奏をしに来てくださったのは、管楽器演奏のスタープラスカンパニーの皆さんです。メンバーは、トランペットの二名、ホルン、チューバ、トロンボーン(各一名)の五名です。演奏してください

た曲目は「カンツォーネベ ルガマスク」、「花」(滝廉太郎)、「美女と野獣」、「トロメドレー」、「トラン ペットラブレター」、「校 歌」です。クラシックな曲から、昔ながらの愛唱歌、デイズニーや トトロなどの アニメの挿入 歌など、様々なジャンル の音楽を聴かせて いただきました。 四十五分間飽 きたことなく 楽しい時間が あったという間 に過ぎていき ました。最後 に演奏してく ださった校歌 は迫力たつぷ りの大音響 で、とても かつこよくア レンジされて いて、自分た ちの校歌をよ

最後に子どもたちからの感想を一部紹介します。 (北小学校 音楽専科 鎌原永美) 大好きにさせてくれるような素敵な演奏でした。思わず嬉しそうに手をたたきながらノリノリで歌い出す一年生の姿がありました。一番の盛り上がりは楽器紹介コーナーでした。オーケストラの楽器の学習は六年生の音楽で出てきますが、ここまで詳しく楽器の音色や奏法を生音で学習することはありません。演奏者の方の楽しい楽器紹介のお話に、興味津々の子どもたちでした。 最後は子どもたちからの感想を一部紹介します。

図書館からの お知らせ

▲蔵書点検休館のお知らせ▼ 図書館は蔵書点検に伴い、次の日程で休館いたします。 七月十一日(火) 七月十五日(土) 不便をおかけしますが、よろしくお願いします。 図書館では、七月のお楽しみ会を開催いたします。 日時：七月八日(土) 十時三十分、

場所：ゆめあるて 研修室一・二 出演：おはなしくらぶ おおきな木 内容：絵本、紙芝居、手遊び、などなど、楽しいことがいっぱい♪ どうぞみなさんお越しください。

▲移動図書のご案内▼ 七月の移動図書 四日(火) 伴野勤労者福祉センター 七日(金) 壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後八時～九時 (図書館 松尾こずゑ)

小中学校で鑑賞音楽教室

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.233

ムラサキサギゴケ
(牧野時代はゴマノハグサ科、
今はサギゴケ科)



今月はムラサキサギゴケを紹介する。湿ったあぜ道などの日当たりの良い場所に生え、ほふく茎で広がっていく。

今月はムラサキサギゴケを紹介する。湿ったあぜ道などの日当たりの良い場所に生え、ほふく茎で広がっていく。



今月はムラサキサギゴケを紹介する。湿ったあぜ道などの日当たりの良い場所に生え、ほふく茎で広がっていく。



やきもち(おやき)



梅の収穫

梅(小梅)が収穫期を迎えます。収穫用のネットを梅の木の下に設置し、振動収穫機を枝に当てることで、実をネットの上に落として収穫します。

梅(小梅)が収穫期を迎えます。収穫用のネットを梅の木の下に設置し、振動収穫機を枝に当てることで、実をネットの上に落として収穫します。

梅(小梅)が収穫期を迎えます。収穫用のネットを梅の木の下に設置し、振動収穫機を枝に当てることで、実をネットの上に落として収穫します。



【郷土行事食】
梅漬け

飯田下伊那が発祥の地とされている「竜峡小梅」をカリカリ漬けに。『とよおかふるさと』では、砂糖漬けと塩漬けを紹介しています。塩漬けは酢を使うことで減塩になります。

【農業の行事】
梅の収穫

梅(小梅)が収穫期を迎えます。収穫用のネットを梅の木の下に設置し、振動収穫機を枝に当てることで、実をネットの上に落として収穫します。

田の中干し

田んぼの水を抜いて、地面にひびが入るまで乾かす作業が中干しです。『土用干し』とも言われ、6月末、7月にかけて行います。土の中に空気が入ることにより、稲の根張りがよくなります。また、土の中にたまったガスが抜けて地面が固くなり、収穫作業がしやすくなります。



田んぼや柿の木畑が広がり四季を通じて心休まる

新緑の風に包まれ宮参りヤッホーとさけぶ園児の声。山気満つ沢に色めく九輪草。御朱印を求める声も藤咲いて中央アルプス。畠一反の花筵。九十九折ダム湖へ続く青葉風。父の忌や天竜低く初つばめ。あをぞらの築くしゃちほこ花は葉に。紫木蓮の空へ飛びたつ勇姿かな。大学教書の息子のページ春開くる。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。

公民館からのお知らせ
◆公民館成人講座
今年度は「次世代への提言」～これからの生き抜くすべての人へ～をテーマに講座を開催しています。